

■平和、原爆を学んで



亀ヶ森小学校6年  
泉 直玖さん

僕は、広島で平和の大切さ、原子爆弾の恐ろしさを学びました。昭和20年8月6日の午前8時15分、広島に原子爆弾が投下され、青白い光とともに建物は崩れ、そして燃え、人は皮が剥がれ落ち、爆風で服が破れ、多くの人が亡くなりました。このようなお話を聞いて、原子爆弾の恐ろしさが分かり、当時の写真や絵を見て平和がどれだけ大切で、平和であることが、どんなに幸せなことなのか、よく分かりました。世界中が戦争の恐ろしさ、核や原子爆弾の恐ろしさを知り、平和の大切さ、ありがたさ、平和であることのうれしさを知ることこそ本当の平和だと、僕はそう思います。

■世界平和を目指して



若葉小学校6年  
阿部 くるみさん

私は、この夏広島へ行き、被爆した方のお話や平和記念資料館の見学、赤十字・原爆病院の訪問などを通じて、平和について学んできました。特に当時の写真や物を見て、怖いと感じるとともに戦争があった事実をしっかり見て、たくさんの人たちに伝えなければと思いました。また、68年前にたくさんの命がなくなり、今も心も体も傷ついている人がいることを知って、とても心が痛くなりました。私は、世界が平和になって、助け合える、手をつなぎ合える日が来てくれることを信じています。そしてもっと平和な国を目指していくために、私にできることを一歩ずつ行動していきたいです。

■非核平和学習に参加して



亀ヶ森小学校5年  
檜垣 媛子さん

8月4日から6日までの3日間、広島で非核平和学習をしてきました。平和記念公園には、原爆の子の像などたくさんの原爆に関するものがありました。原爆の子の像は、被爆後に12歳の若さで白血病を発症して亡くなった佐々木禎子さんをはじめ、子どもたちの霊を慰め、平和を築くために作られたものです。禎子さんが闘病中に折り鶴を折っていたことから、世界各国から折り鶴が届き、像のそばに供えてありました。3日間、見学やお話を聞いたことをたくさんの人に伝え、戦争をすること、原子爆弾を使うことは、絶対にダメだということを世界の人々に知ってもらいたいと思いました。

■核兵器、争いのない国



笹間第二小学校6年  
高橋 怜那さん

「もう二度と戦争が起こりませんように。」心の中で何度も何度も祈りました。それは、非核平和学習会に参加して強く感じたことです。赤十字・原爆病院には、被爆して亡くなられた方の心臓や胃などが標本として保管されていました。これはきっと、原子爆弾の恐ろしさを知らない人に伝えるために、亡くなられた方やその家族からのメッセージが込められたものだと感じました。日本がこの先も平和であるためには、やはり戦争が起きないこと、核兵器を造らないことだと思います。そのためにも私ができることは、今回学習してきたことを一人でも多くの人たちに伝えていくことだと思います。

■非核平和学習会に参加して



若葉小学校6年  
大町 雅哉さん

テレビなどで、戦争のことについて見たことはありましたが、非核平和学習会に参加して、「戦争は怖いな」「原子爆弾も怖いな」と改めて感じました。小学5年生の時に被爆した方から、当時の状況や68年経った今でも苦しんでいる人がいることを聞いて、とてもつらかったです。僕は、この3日間で、たくさんのことを学びました。これら全ては、とても貴重な体験で、一生忘れないと思います。学んだことは、友達や身近な人に伝え、これからの学習にも生かし、世界が平和になるように自分でできることを考えていきたいと思っています。

非核平和学習会に参加した小学生の皆さんは、ボランティアガイドの案内で広島市の平和記念公園を見学。公園内にあるモニメントに込められた平和への願いなどを学びました

花巻市は  
非核平和都市宣言のまち



本市は、全ての国の核兵器の廃絶と軍縮が推進されることを願い、平成18年3月に「非核平和都市」を宣言。この宣言の理念を推進し、市民の皆さんの非核平和に対する意識の向上を図るため、花巻市非核平和都市推進委員会と共に、さまざまな活動を行っています。

非核平和学習会を開催

花巻市非核平和都市推進委員会では、8月4日から6日までの3日間、市内の小中学生9人を広島市に派遣し「非核平和学習会」を開催しました。  
この学習会は、次代を担う子どもたちに戦争や核兵器の恐ろしさなどを学んでもらい、平和の尊さを考えてもらうために実施。平和記念資料館を見学したり、被爆者の話を聞いたりしたほか、平和記

念式典に参列しました。子どもたちが、学習会を通じて学んだことや感じたことなどを紹介します。

※掲載文は、学習会に参加した子どもたちが書いた感想文の要旨です。感想文は、文集に取りまとめ本庁総務課に備え付けているほか、市ホームページにも掲載しています

【問い合わせ】  
本庁総務課  
(☎24・2111内線219)